

報告書〔3〕 分析結果及びフローシート

3 水銀

分析実施機関名		整理番号	*	国際的な認証の取得	1. ISO 9001~9003 2. ISO 14001 3. ISO/IEC 17025 (ガイト'25) 4. なし
分析主担当者名		*	分析主担当者の経験年数	年	分析主担当者の実績(検体数)
					検体

注1) 分析結果 (mg/l)	標準偏差 (mg/l)	測定回数 (回)	注1) 2回以上の測定を行った場合は、平均値を記入する。 なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意してください。	分析開始日	月	日
				分析終了日	月	日

<還元気化原子吸光法>

試料の適量

硫酸10ml ⑬ (前処理)

硝酸5ml ⑭

過マンガン酸カリウム溶液(5%)20ml

過マンガン酸カリウム溶液(5%) 紅色が15分持続するまで

ヘルオキソ二硫酸カリウム溶液5% ⑮

又はヘルオキソ二硫酸アンモニウム溶液5%10ml ⑯

加熱 約95 ⑱⑲

放冷

塩化トリロキシルアンモニウム溶液(10%)10ml

水

一定量とする ⑳

塩化すず()溶液(10%)10ml (測定)

還元気化原子吸光法で測定

㉑

<分析法等>

分析法	1. 還元気化原子吸光法 2. その他()
測定波長	()nm

<前処理>

試料の分取量	()ml
前処理に使用した試薬 注2)	硫酸⑬()ml 硝酸⑭()ml 過マンガン酸カリウム溶液5%⑮()ml ヘルオキソ二硫酸カリウム溶液5%⑯()ml ヘルオキソ二硫酸アンモニウム溶液5%⑰()ml
加熱方法	⑱ 1. 水浴 2. ホットプレート 3. その他()
加熱温度	⑲()
前処理後の定容量	⑳()ml

注2)⑬~⑰については、使用していない場合0「ゼロ」を記入する。

<測定>

方式	㉑ 1. 密閉循環式 2. 開放送気式 3. その他()
----	----------------------------------

<検量線の作成等>

定量方法	㉒ 1. 検量線法 2. 標準添加法
検量線の作成	作成点数㉓() 濃度範囲㉔()~㉕() 注3) 単位㉖ 1. 量(μg) 2. 濃度(mg/l) 最高濃度の指示値㉗() 空試験値(指示値)㉘()
試料の指示値	㉙()
検出限界 注4)	㉚()mg/l

注3) 測定溶液中の量又は濃度で示す。

注4) 試料中の濃度で示す。

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点

前処理について	-----
測定方法について	-----
分析全般について	-----